

特発性黄斑円孔に対して、網膜内境界膜剥離併用硝子体手術を行った後の黄斑の移動の研究に関する情報公開

1. 研究の対象

2016年8月から2017年5月までに当院眼科において網膜内境界膜剥離併用硝子体手術を行った方

2. 研究目的・方法

特発性黄斑円孔特発性黄斑円孔術後では、変視症を訴える患者さんが多く見られます。その原因として、黄斑円孔術後に黄斑円孔は閉鎖し、視力が改善しますが、黄斑自体が移動して変視症を呈している可能性が否定できません。そこで、今回黄斑円孔術後の黄斑移動に関して、既に撮影された画像を用いて移動距離を計測し、他の因子との関連について調べます。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：視力、眼圧、角膜曲率半径、眼軸長、光干渉断層計画像、光干渉断層計アンギオグラフィー画像、眼底写真、性別、年齢、病歴など

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65

名古屋大学医学部附属病院眼科

tel: 052-741-2111

研究責任者：名古屋大学大学院医学系研究科眼科学 岩瀬 剛